

ている者に限る。なお、外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員はそれぞれ1名ずつ申請することができる。個人戦でベンチに入れるのは1名とする。

外部指導者[アドバイザー]または部活動指導員の申請については、所定の大会参加申込書に記入し県大会代表者会で提出する。申込書に記入されていない場合には一切認められない。大会時にはアドバイザー証を身につけてベンチに入ることとする。また、顧問監督または外部指導者[アドバイザー]の変更については、所定の変更届に記入し、大会受付時に、本部に必ず提出する。なお、試合開始後の変更は原則認められない。

(6) 団体戦においては監督、個人戦においては監督および選手が抗議権を持つ。

(7) ゲーム間のアドバイスは、1分以内で認める。ただし、試合中のタイムアウトは、現在のところ認めていない。(※県大会代表者会で確認する)

(8) ベンチや観客席から相手選手に不快感を与えるような言動や、動揺を与えかねない指示等は厳に慎む。顧問は生徒にマナーを守るように十分指導しておく。また、観客席から試合中の選手へのアドバイス等やそれに疑われる言動をしてはいけない。

(9) ラケット交換は、お互いにラケットを見せ合うのみとする。

(10) 団体戦のオーダー交換は、試合前に各コートで速やかに行う。

(11) 団体戦のあいさつは、原則として顧問監督も整列する。

(12) 団体戦の選手のベンチは、若い番号のチームが本部に向かって左側とする。

(13) 審判は、団体戦、個人戦ともに原則として敗者審判とする。審判は、公正に毅然とした態度で判定にあたる。また、審判はジェスチャーをはっきりと示す。

《ポイント》 得点側の片手をグーにして肩へ上げる。 《レット》 片手をパーにして頭上へ上げる。

審判が判断しかねるトラブルが生じたときは、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に報告し、助言を受けること。

(14) 試合結果については、団体戦の場合は「勝ったチームのキャプテン」が速やかに本部へ記録(オーダー)用紙を持って報告する。また、個人戦の場合は、「勝った選手本人」が速やかに本部へ報告する。

(15) 促進ルールについては、試合開始10分経過後、対戦両者のポイントの合計が18点に満たない場合に適用される。促進ルールが適用される可能性のある試合では、あらかじめ両チームで計時をしておく。適用条件になった場合には、試合を一旦中断し、審判長(本部)に即座に連絡する。本部からストロークカウンターを配置する。

9 会場への交通手段について

①公共交通機関を利用するものとする。

②保護者も公共交通機関を利用する。(駐車場に限りがある)

③貸切バスの利用は、**県代表者会で申請をした学校のみ**できる。水上公園で乗り降りをし、駐車も水上公園にすることができる。

10 会場使用上の注意

(1) 来場について

①館内は、すべて上履きを使用することになっている。また、下足は各自が用意した袋に入れて、観客席に持っていく。

②電車やバスなどの公共交通機関を利用する際は、一般の方々の迷惑にならないようにする。徒歩や自転車での移動でも、一般の方々の迷惑にならないように移動する。

③参加生徒には、行き帰りの道中の態度、身だしなみ、館内での過ごし方等におけるルールやマナーを守るように、事前に引率顧問は十分に指導しておく。

(2) 入場(入館)について

①開館時刻は**8時30分**の予定となっている。**整列入場を行う。**

②荷物は座席の下に置き、通路には荷物を置かないこととする。

③館内には多くの来場者がいる。参加生徒は、館内で走り回ったり、壁打ちをしたりするなど、来場者や周囲の人たちへの迷惑行為とならないように注意する。

④トイレはきれいに正しく使用する。

- ⑤体育館内の施設は、すべてのものを丁寧に扱い、必要のないものには手を触れないようにする。また、指定された以外の施設内への立ち入りは決してしないこと。万が一、施設の物を破損した場合は、すぐに本部まで申し出ること。
- ⑥帰るときは、座席付近にゴミが落ちていないか、忘れ物がないか確認する。
- (4) 競技会場について
 - ①卓球台 50 台を使用する。
 - ②水分補給をする際には、水滴を含めフロアにこぼさないように注意する。
- (5) 競技について
 - ①カットマンにおける卓球台の移動については行わない。
 - ②汗ふきタオルは直接卓球台にかけないようにすること。バッグやラケットケース等を台の下に置き、その上にタオルを置くようにする（床等に直に置かない）。
- (6) 会場内の移動について
 - 通路や廊下、ロビーに立ち止まっていることのないようにする。
- (7) その他
 - ①通路、廊下、ロビーなどを荷物置き場やベンチとして使用しない。
 - ②ガム、アメ、菓子類、缶ジュース類の飲食、またゲーム機器や音楽機器、スマートフォンや携帯電話等の使用は禁止とする。
 - ③盗難、ケガ、器物破損、事故が発生した場合は、直ちに本部に連絡する。
 - ④引率教師(顧問)が選手の貴重品を管理する。
 - ⑤落とし物や忘れ物等がないように、各自(各チーム)で管理を徹底する。大会中の忘れ物等は、令和 6 年 11 月 15 日まで（さいたま市立宮原中学校）で保管する。

11 試合進行

(1) 団体戦

- ①アナウンスで台に入る。（タイムテーブルにそって、進行する）
- ②トスの後、お互いにラケットを見せて 3 本練習し、試合を始める。
団体戦の勝敗は順番関係なく、3 本決まった時点で勝敗を決定する。
- ③試合終了後あいさつを行い、勝ったチームはオーダー用紙を持って本部に報告する。
試合に負けたチームは、タイムテーブルにしたがって審判を行う。

(2) 個人戦

- ①アナウンスで台に入る。
- ②ジャンケンの後、お互いにラケットを見せて 3 本練習し、試合を始める。
- ③試合終了後、あいさつを行い、勝った選手は本部に報告する。試合に負けた選手は試合をしたコートで審判を行う。

(3) その他

- ①試合を待っている人は、アリーナ出入口や競技エリアで待機しないようにする。
- ②審判は、シングルの試合は 1 人、ダブルスの試合は 2 人で行うものとする。
- ③練習について（次のように練習台を割り当て、開会式前に練習を行うものとする）

- 10 月 29 日（火）男子団体戦と 10 月 30 日（水）女子団体戦
→組み合わせで左側の学校（1 コート～25 コート）
右側の学校（26 コート～50 コート）

■ 10 月 31 日（木）男女シングルス・男女ダブルス

- (ア) 男子シングルス（1 コート～12 コート） (イ) 女子シングルス（13 コート～24 コート）
- (ウ) 男子ダブルス（25 コート～37 コート） (エ) 女子ダブルス（38 コート～50 コート）

《参考資料》

【県中体連(関東・全国も同様)における外部指導者[アドバイザー]の規定】

- 外部指導者の資格として、
- 1 当該校長が認めた成人(18歳以上)であること。
 - 2 日頃から継続して、その学校の部活の指導にあたっている者。
 - 3 複数の学校及び、複数種目の外部指導者としてベンチ入りはできない。
 - 4 小・中・高の「教職員」は、外部指導者として各大会には登録できない。
※学校の事務員、講師、用務員、教育委員会指導主事等も不可。
 - 5 外部指導者のみで生徒の引率は、特定の場合を除き、できない。

※上記については、今大会に限ったものではない。

令和5年度新人兼県民総合スポーツ大会のカップ等の返還があります。
下記の学校は、大会当日に必ずご持参いただき、本部に渡してください。

【男子団体】

優勝校	新座市立第二中学校	(優勝旗・優勝杯)
準優勝校	狭山市立中央中学校	(準優勝杯)

【女子団体】

優勝校	越谷市立富士中学校	(優勝旗・優勝杯)
準優勝校	新座市立第二中学校	(準優勝杯)

【男子個人】

シングルス優勝	越谷市立新栄中学校	(優勝杯)
ダブルス優勝	春日部市立東中学校	(優勝杯)

【女子個人】

シングルス優勝	上里町立上里中学校	(優勝杯)
ダブルス優勝	川口市立南中学校	(優勝杯)